

資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会
4. 北海道庁道政記者クラブ
5. 札幌市政記者クラブ
6. 北海道開発記者クラブ
7. (株)建設行政新聞社

日時：令和7年12月26日（14:00）



国立研究開発法人土木研究所
令和7年12月26日

地すべり防止施設の長期機能保持に向け観測記録をまとめました

多くの地すべり地では、地すべり対策の主要工種である集水井において、集水ボーリングの目詰まりに起因する機能低下が問題視されています。目詰まりの形成過程を詳細に把握することは集水井の維持管理上非常に重要ですが、集水井内の集水ボーリングについては頻繁に観測することが難しいことから、目詰まりの時系列的な形成過程について明らかになっていません。本資料は、集水井における集水ボーリングの目詰まりの形成過程を継続的かつ多頻度で調査を実施したものです。本資料において取りまとめたデータは今後、施設の維持管理上の取り組みの一助となることが期待されます。

ホームページに上記の「土木研究所資料」を掲載しました

1. 掲載資料

○土木研究所資料 *研究所において実施した調査、試験及び研究の成果又は調査、試験及び研究を進めていく上で必要な資料をまとめたものに係る研究の成果をまとめたもの。

資料NO	タイトル	著者
4463	茶臼山地すべりの集水井における集水ボーリングの目詰まりの実態調査	土砂管理研究グループ 地すべりチーム

2. 掲載先 以下のウェブページから閲覧できます。

○土木研究所資料 URL : https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/100/2025/

【問合せ先】	国立研究開発法人土木研究所	企画部業務課	課長	かなざわ	てつや
				金澤	哲也
				主査	かたおか 片岡 貴之
		電話番号		029-879-6754	